



# TOCO-TON 明科

No. 45 R7. 12. 04 発行

TOCO-TON 指導主事

## 1 明南小でストリートダンス『明北小児童・明科中生徒もいっしょに楽しもう！』

11月14日（金）・20日（木）



「中学校区ごとの特色と魅力を高める小中一貫教育の推進」によりスタートした『ストリートダンス』は5年目を迎えました。新曲『SONOMAMA』によるパフォーマンスがスタートして2年目となります。

令和3年度、明科地区で小中連携を推進していくにあたり、地域の小・中・高校生たち、更には園児からお年寄りまでが共通して大切にできる「宝」のようなものがあれば連携も、更には地域も盛り上がるのではないかと考え、『ダンスの町 A·KA·SHI·NA』という合い言葉を掲げストリートダンスがスタートしました。学校での取組が響き、放課後児童クラブでも「ストリートダンスを楽しみたい」と願う子どもたちの声に応え、「ダンス講座（明科公民館：ちびゆりさんが講師）」を設けた年度もありました。

本年度は、早期のインフルエンザ流行に伴い、明北小4～6年生と明科中1～3年生が練習に参加できたのは2日間でしたが、明科小中三校児童生徒が、明南小体育館でストリートダンスをいっしょに楽しむことができました。

長野県ストリートダンス普及協会オリジナルテーマソング『SONOMAMA』の曲に乗ってダンスを楽しむことを通して、協会が子どもたちに伝えたいこと（下記）は、ダンスをご指導いただいている、プロダンサーの、ちびゆりさん、A z s aさん、CHOPPA→さんが子どもたちに投げかける言葉からも多々感じられました。

☆周りと比べず、ありのままの自分でいていいんだよ

☆自分を信じて一步踏み出してみたら、きっとその先に楽しいことが待っているよ

☆あなたは一人じゃない、周りには友達や家族がいて、あなたのことを応援してくれているよ

☆笑顔の日も、涙の日も、どんな時でも自分らしくいていいんだよ

明科小中三校は本年度より、TOCO-TON 実践校としての歩みを始めているので、小中三校でのストリートダンスをどのように継続していくか、子どもの「やりたい」に耳をかたむけて考えていきたいです。

## 2 明北小5年総合『夜の学校でキャンプファイヤーを楽しもう！』11月21日(金)

6月の宿泊学習で、楽しみにしていたキャンプファイヤーが、雨のため行えませんでした。子どもたちの『みんなでキャンプファイヤーがやりたい！』という強い願いが、「超『長戦』キャンプファイヤー」実現への原動力となりました。「お腹が減るから何か食べたいね」「夜の学校探検もできたら楽しそう」「たくさんの薪を集めたい」等々、話が膨らむと同時に、乗り越えなければならない課題も増えていきました。子どもたちは、アイデアを出し合い、試行錯誤を重ねながら、みんなで楽しむための課題を解決していきました。外部講師を招いたり、竹や枯松を利用したりして、明科地域のよさや特色も活かすことができました。

### (1) 本番に向けて「作ってみよう！ 試してみよう！」



### (2) キャンプファイヤー当日 11月21日（金）

- |          |          |             |                   |
|----------|----------|-------------|-------------------|
| 1 はじめの言葉 | 2 火の神    | 3 イツツ笑笑笑ダンス | 4 五平餅・マシュマロを食べる時間 |
| 5 インタビュー | 6 終わりの言葉 | 7 片付け       | 8 夜の学校探検          |



- 今までの準備のおかげで、このキャンプファイヤーができたのだなと思って、すごく楽しかったし、親の皆さんもすごく楽しそうに笑っていて、すごく嬉しかった。自分たちでつくり上げたから、こんなに楽しいキャンプファイヤーができたのだと思った。（児童）
- 明科の五平餅を作って食べたり、明科でとれた木や竹でコップやトーチを作ったりして、明科の知らないことも知れたりし、知識を広げ高められた。（児童）
- 子どもたちの“やりたい”から、しっかり考えて準備してきたのが伝わりました。親も子も全員で楽しめるステキなイベントでした。（保護者）
- 娘が家に帰る車の中で、「今までの学校生活の中で一番楽しかった」と言っていました。苦労して頑張った分、一生の思い出となったようです。（保護者）